

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：日本体育大学

【2022/5/14】

この試合のプレー集計

1部																	
	明治大学	12	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>4</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>4</td><td>—</td><td>4</td></tr> </table>	4	—	4	2	—	1	2	—	2	4	—	4	11	中央大学
4	—	4															
2	—	1															
2	—	2															
4	—	4															
	審判:		PSO 折笠 敬一 中 哲朗														

明治大学	34	SH数	33	中央大学
	17	速攻数	14	
	10	ST・SB	9	
	8	SH・P誘発アシスト	8	
	50%	GK阻止率	40%	
	6	EX反則数	5	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

両チームともにダブルヘッダーとなった2試合目。お互いに初戦を落とし、2戦目は先発GKを替えてリーグ戦白星を狙った。

1P

序盤に中大DFのマーク確認が緩慢になったところを明大⑦渡邊が右サイドを泳いで先制点をあげ、その後も追加点をあげて明大リード。しかし、明大側も得点をあげた直後の再開プレーでのDF対応が甘く、中大の得点源⑩竹村をフリーにさせてしまっ連続失点。結局、両チームのDF対応が不十分な状態で明大4-4中大で第1ピリオドを終えた。

2P

さすがに両チームのDFは立ち直り、積極的にカウンター攻撃を出し合う展開となった。中大カウンターで③森田が決めて、やや中大ペース。しかし中大側の退水シュートミスで明大が突いて③熊谷がペナルティを誘発して⑤越智が決め、さらに中大のシュートミスからまたもや③熊谷が退水を誘発して⑥林が決めて、明大6-5中大で前半を折り返した。中大は積極的な攻撃で主導権を握りかけたが、前線でコントラ反則が続く、リズムに乗れなかったのが痛かった。

3P

リードした明大は開始直後に②太田が退水を誘発して⑤越智が決めて3点差に。その後、互いに決め手を欠く展開が続き、長いラリー状態となったが、中大のイージーなパスミスから明大が速攻に出て②太田が決めて4点差とした。ピリオド後半は中大が連続得点をあげて、明大8-7中大と1点差で最終ピリオドへ。このピリオドはやや中大が押し気味だったが、中大シュートを明大GK⑬兼本がよく止めて、明大優位を守った形だった。

4P

どちらも初日の連敗は避けたい意気込みが高まった最終ピリオド、明大がチャンスを確実にものにしてピリオド中盤で12-8と4点差に広げて安全圏に。最後は、中大が猛攻をかけて3連続得点で追いすがったが追いつくことができず、明大12-11中大と1点差ながら、昨シーズン2位の明大が今季初白星をマークした。

試合を通じて、明大GK⑬兼本のセーブが勝因につながった形だが、中大側はチャンスは多くあったものの、パス展開がやや遅く、明大DFの対応(GK含む)を許す結果となってしまった。中大は初戦の筑波大戦で見た全員で守る意識がやや薄れた展開になってしまったが、これはダブルヘッダーの影響があったのかもしれない。初日2連敗となった中大だが、チームとしてのまとまりは昨シーズン以上のものがあるので、次からの試合に期待したい。